

タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成27年8月22日(土) 午前10時～11時30分
場 所 亀久保南分館 (亀久保町会)
天 気 くもり
参加者 21人



主な意見等

参加者 1時間に60ミリの降雨が発生した場合、ふじみ野市はどうなりますか。

市 長 60ミリは下水道の造成時には想定していない量です。発生した場合、道路冠水等が発生すると考えられます。通常は50ミリを想定していたため、どの程度で水が引くかも想定できません。現在は、降雨が下水管に流れないようにマンホールの入れ替えや、貯水池の整備、雨水浸透層を整備しています。順次対策をしております。

参加者 道路の冠水について市役所に行ったところ至急対応するよう指示があったと聞き、安心しています。2年4カ月の間に8回の冠水がありました。駐車場が冠水し、場合によっては庭まで冠水します。以前は畑だった場所を開発しているため、元は畑に流れていた水が道路に流れている状況です。昨年8月から市役所の道路課、上下水道課と話をしてきました。これまでもいくつかの対策をしてもらいました。しかし、その効果が出ていない状況です。それを連絡したところ、次の対策として浸透層を検討しているが、土地確保や費用面で難しいとのこと。市長からも至急対応できるよう指示をお願いします。

市長 桜ヶ丘の住宅地の中で畑を開発した場所かと思います。開発当時の基準に宅地内浸透が含まれていなかったため、全てが道路に流れていっていると思います。対策を順次行っていきたいと思っています。ふじみ野市は経常収支を改善してきた効果が出てきているため、そこで浮いた費用を対策に回していきたいと考えています。こちらでも説明会を行いました。敷地内に浸透枡を設ける県の事業があります。皆さんからたくさん応募をいただいているため、設置が追いついていませんが、着実に進めてまいります。

参加者 亀居、西保育所の関係です。とても性急な対応でした。入園できない子どもや行き場を失った保育士がたくさんいたと思います。あまりにもひどいのではないのでしょうか。

市長 何かをやめることは市民からの反発がございます。しかし、その反発を恐れて危険のある保育所を放っておくことはできません。亀居保育所は地権者から土地建物を借りており、貸主では耐震補強工事の実施はできないということで、廃園という決定をしました。しかし、解体した後亀居保育所の場所に新しく民間の認可保育所が建つことになりました。もし、新しく建った保育所に戻りたいお子さんがいらっしゃいましたら、優先的に戻れるように対処します。廃園までの時間が短かったのは事実ですが、私はプール事故の悲劇を繰り返さないよう安全・安心を最優先にして決断をしました。耐震性の弱い建物で子どもたちが建物につぶされるようなことはあってはなりません。0歳児は自力での避難ができないため保育士が両手に抱えて避難させることになるため大変なプレッシャーです。私たちの説明不足があったかと思いますが、ご理解いただきたいと思ます。

参加者 優先的に申し込めるということで、今いる保育所から5歳の子供が亀久保保育所に転園を申し込みましたが、外れてしまいました。

市長 廃園になる保育所からの転園は優先的に申し込めますが、転園後、さらに転園する場合は優先的に申し込むことはできません。

参加者 反対の署名が2万名いましたがいかがですか。

市 長 一番初めの署名は半分が市外の方でした。

参加者 亀居保育所の後に建つのは民間の保育所で、亀久保保育所は今年度の3月に終わりになりますよね。公立保育所が少なくなっています。どのようなお考えですか。

市 長 現在は公立保育所の維持管理が難しくなっています。国の方針として公立保育所の建設と維持に補助が出なくなっています。公立保育所を建てることは可能ですが、市の支出が3億円増えてしまいます。その場合、子育てだけでなく雨水対策や高齢者への施策に回す資金が無くなってしまいます。皆さんの貴重な税金を使用していますから、これからの5年、10年の長い視点で考えなければいけません。また、現在は、公共交通の見直しをしています。市内の循環バスは利用者が少ないです。そのため、デマンド交通等を検討する協議会を設立しました。皆さんの税金を無駄に使わないよう効率的な財政を考えていきます。

参加者 関越道の向こう側に子どもが帰る時間になると暗い場所があります。子どもたちの防犯のためにそこに外灯は付けられませんか。

市 長 分かりました。すぐに調べさせていただきます。

参加者 安全・安心という言葉が大好きです。私の経験上からこのようなスローガンがあると、人の意識が高まります。市内には見えない危険があると思います、事が起こってからの対策では遅いです。安全・安心の精神を浸透させて危険を予防していただきたいです。

市 長 プール事故は行政としての対応が問題でした。行政組織全体として問題があったと思います。2度と繰り返さないよう努力していきます。保育所の耐震診断についても、安全・安心を最優先しなければいけませんから、必要と考えて耐震診断を行いました。

参加者 先ほど保育所の廃園までの期間が短かったといった理由は、保護者は送り迎え先が変わるために仕事を探さなければいけません。あまりにも期間が短くて、そういった対応ができなかったために怒っています。

市長 そのようなご意見もありましたので、ぎりぎりまで耐震補強ができないか考えてきましたが、万が一のことが起きてしまったら取り返しがつきません。そのため、このようなスケジュールとなってしまいました。

参加者 受益と負担について聞きたいことがあります。現在は無料で使用している施設がいくつかあると思います。負担については当然だと思いますが、負担の割合については収入に応じて段階を設けるなど検討してほしいです。

東上線連合や川越街道連合などの協力を受けて、道路の整備や上福岡駅の整備を行ってほしいです。

市長 東武東上線については、沿線の首長が集まって対策協議会を作っています。そこでは東武東上線に対して意見を述べ合っています。

受益者負担については、将来的には公民館の利用料などの負担をお願いすることになります。公民館は、本来は無料の施設ではありません。減免という制度を設けて費用を免除しています。しかし、制度が設けられた当時と状況が変わってきています。公共施設の維持管理には多大な費用がかかっていますが、その費用は利用者以外の税金から負担をしています。今後は減免を見直さなければいけないと思っています。しかし、あまりにも皆さんへの説明の時間が少なく理解を得ることが難しいので、もう少し時間をかけて説明していきたいと考えています。皆さんで協同利用する場合、一人の負担は少ないと思います。しかし、利用料が発生するという総論に反対される方がいらっしゃるため、理解を得られるよう説明をしていきたいと考えています。